

## 世界 LNG 動向#99 2024 年 3 月

橋本裕\*

### はじめに

2024 年 1-2 月の世界の LNG 貿易量は、7100 万トン強と、前年同期比 2%増加した。輸入面では、中国が 19%増の 1320 万トンとなったが、日本は 8%減の 1213 万トン、欧州連合+英国が 6%減の 1753 万トンの対照的な動きとなった。北半球冬季を乗り切る見通しが立った世界の LNG 市場の価格は、比較的安定している。しかし、紅海・スエズ運河、パナマ運河の輸送上のボトルネックは継続しており、供給セキュリティに注意が必要である。

価格安定を受け、アジア市場での LNG スポットカーゴ調達の動きは活発化している。2023 年に LNG 輸入を開始した、フィリピン、ベトナム、またインドでは新規基地向けなど、購入テンダーを行っている。ベトナムでは、最初の LNG 輸入基地が本格稼働に移行し、4 月に初のコマーシャルカーゴを受け入れる予定となっている。

米国では、LNG 輸出許可手続きの一時停止（ポーズ）に対する反対論が新たな展開を示している。3 月中旬、米エネルギー長官は、本 LNG ポーズが 1 年後には「過去の事象になっている」と表現した。他方でホワイトハウスのエネルギーアドバイザーは、2 月中旬、「一時停止は、10-14 ヶ月続く可能性が高い」と述べており、その最長の場合には、1 年後の今頃も未だポーズが終わっていないことになる。停止期間の不透明性は解消できていない。有力上院議員・16 州の法務担当部門が、政権に対してポーズの即時撤回を求めた。

米国含め世界各地で、LNG 生産プロジェクト開発は前進している。カナダ LNG Canada は、3 月上旬、第 1 段階設備建設作業がほぼ完成しており、コミッショニング・スタートアップへの作業がまもなく開始すること、2025 年半ばまでに商業運転開始を期待していることを明示した。世界の大規模 LNG 輸出設備の中で、カーボン原単位は最低となるとしている。

アラブドバイ ADNOC は、3 月中旬、Ruweis LNG プロジェクトの初期 EPC（エンジニアリング・調達・建設）作業の限定推進通知（LNTP）を発した。2024 年以内に FID（最終投資決定）を見込み、MENA（中東・北アフリカ）地域で初めてクリーン電力で運転し、これもカーボン原単位が世界最低水準としている。

アルゼンチン YPF 社は、3 月上旬、2027 年までに既存 FLNG を活用して LNG 輸出を開始し、2032 年以降、輸出を年間 3000 万トンに拡大する方針を明らかにした。

---

\* 資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット

## [アジア太平洋]

株式会社商船三井 (MOL) は、2024 年 3 月 5 日、東京ガス株式会社子会社 東京エルエヌジータンカー株式会社 (TLT) と、新造 LNG 船 1 隻の長期備船契約を締結したことを発表した。本件は両社間で 8 隻目の備船契約となる。

西部ガス株式会社は、2024 年 3 月 26 日、230,000 m<sup>3</sup> LNG タンク 1 基、LNG 気化器、ローリー出荷設備等の増設によるひびき LNG 基地の能力増強について、入札を行うことを決定したことを発表した。運転開始予定時期を 2029 年度内としている。

九州電力株式会社、伊藤忠エネクス株式会社、西部ガス株式会社は、2024 年 3 月 28 日、日本郵船株式会社 (NYK) とともに設立した合弁会社 KEYS Bunkering West Japan 株式会社 (KEYS) が、進めてきた九州・瀬戸内地域で初めての稼働となる LNG バンカリング船「KEYS Azalea (キーズ アザレア)」が竣工し、入魂・引渡式を三菱造船株式会社大和町工場 (山口県下関市東大和町) で開催したことを発表した。本船は、国内の LNG バンカリング船としては初めて、主な発電設備に LNG と重油の両方を燃料として使用できるデュアルフューエルエンジンを搭載している。

東京ガス株式会社は、2024 年 3 月 28 日、子会社の晴海エコエネルギー株式会社が、29 日より、旧東京オリンピック・パラリンピック選手村の晴海地区全街区への水素供給事業を開始することを発表した。水素パイプラインによる住宅・商業施設向け水素供給は、国内初の取り組みとなる。

ベトナム PV Gas (Petrovietnam Gas Corporation) 社は、2024 年 3 月 19 日、CNG Viet Nam JSC (PV GAS CNG) 社が、Thị Vải LNG トラック積み込みステーションからの LNG を、Thuận Đạo 工業団地の顧客向けに引き渡し開始したことを発表した。PV Gas 社は、3 月 27 日、カタール QatarEnergy 社と、LNG 1 カーゴを 4 月 12 - 13 日引き渡しで購入する契約を締結したことを発表した。

Nebula Energy 子会社 AG&P LNG は、2024 年 3 月 7 日、ベトナム南部ブンタウ省 Cái Mép LNG 基地の 49% を買い取ったことを発表した。同基地は Hai Linh 社が開発した。同基地は、ガス火力発電容量 3.9 GW の同国最大の発電設備 Phú Mỹ 工業地域とパイプライン接続がある。同基地は、メコン川デルタに立地し、陸上型貯蔵タンク 3 基合計容量 220,000 m<sup>3</sup>、LNG ブレイクバルク機能を有する。同基地は、2024 年第 3 四半期稼働開始が見込む。

フィリピン First Gen Corporation (FGEN) 社は、2024 年 3 月 21 日、LNG カーゴ 1 隻、DES (持ち届け Ex-Ship) 条件で、子会社 First Gen Singapore Pte. Ltd を通じて、FGEN のバタンガス First Gen Clean Energy Complex の既存ガス火力発電設備で利用するため、調達する入札を発行した。落札者決定は、4 月 12 日を見通している。

フィリピン Aboitiz Power 社 (AP) は、2024 年 3 月 4 日、San Miguel Global Power Holdings 社 (SMGP)、Meralco PowerGen 社 (MGen) と、バタンガスでの統合型 LNG 設備開発に取り組むパートナーシップを締結したことを発表した。3 社は、AG&P 傘下の Linseed Field 社が所有する LNG 気化基地に投資する見込み。

インド Petronet LNG 社は、グジャラート州 Dahej 基地第 3 棧橋海洋設備、上部構造設備の EPC 請負者招請のため入札 2 件を開始した。応札期限は、海洋設備に関して 4 月 16 日、上部構造に関して同 24 日であると述べた。

インド GAIL (India) 社、Oil and Natural Gas 社 (ONGC)、Shell Energy India (SEI) 社は、2024 年 3 月 7 日、Hazira の Shell Energy 基地におけるエタンその他炭化水素の輸入、配送用のインフラストラクチャ開発に関する 3 社間 MoU (基本合意) を締結した。

豪 Santos は、2024 年 3 月 7 日、Narrabri ガスプロジェクト・Hunter ガスパイプラインについて、FID (最終投資決定) に向け、用地アクセス、原住民権利、パイプラインライセンス、残された環境承認手続きを進める、と述べた。Narrabri ガスプロジェクトは、ニューサウスウェールズ州市場に供給する見込み。これに関わる前向きな法廷判断があった。

豪 Woodside Energy 社は、2024 年 3 月 12 日、自社は 2 月 27 日に気候移行行動計画 (CTAP) を公表した、と述べた。CTAP は投資家要望に応じて、自社の気候変動・エネルギー移行に関する追加情報を織り込んだ、と述べた。スコープ 1・2 ネットエクイティベースでの排出量を 2050 年までにネットゼロとする経路の追加詳細、CO<sub>2</sub> 換算年間 500 万トン相当の削減対策への FIDs (最終投資決定) を行う新たなスコープ 3 目標導入を含む。これは 2030 年までに、新エネルギー・低カーボンサービスに 50 億米ドルを投資するこれまでの目標に上乗せとなる。

東京ガス株式会社は、2024 年 3 月 28 日、Tokyo Gas Australia Pty Ltd の子会社 5 社 (4 プロジェクト) を米 EIG Global Energy Partners, LLC 豪子会社 MidOcean Energy Holdings Pty Ltd に譲渡する手続きが完了したことを明らかにした。

株式会社国際協力銀行 (JBIC) は、2024 年 3 月 26 日、株式会社 JERA が出資する豪州法人 JERA Scarborough Pty Ltd との間で、融資金額 831 百万米ドル (JBIC 分) を限度とする貸付契約を締結した。本融資は、民間金融機関との協調融資により実施するもので、協調融資総額は 1,231 百万米ドル。

エルエヌジージャパン株式会社、住友商事株式会社、双日株式会社は、2024 年 3 月 26 日、2023 年 8 月に発表した、西豪州スカボロガス田開発プロジェクト権益の 10% 取得について、Woodside Energy Group Ltd の子会社との間の権益売買契約の発効条件が全て充足し、権益取得手続きが完了したことを発表した。本権益取得に当たり、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) から出資および債務保証の対象事業として採択を受けた。JOGMEC は、LJS 社 (エルエヌジージャパン子会社 LJ Scarborough Pty Ltd) が負担する開発費等の 50% を上限に同社に対して出資を行うとともに、同社の借入金額の 50% を上限に債務保証を行う。

CIMIC グループ子会社 UGL は、2024 年 3 月 5 日、Santos 社から契約を受注したことを発表した。UGL は、Santos 社の Darwin LNG 設備の、Barossa ガス田からのバックフィル供給に備えるため、延命建設工事を担当する。

## [北米]

テキサス州ほか 15 州が、2024 年 3 月 21 日、LNG 輸出許可申請一時停止措置に関して反対する訴訟を提起した。

ジョン・バロツソ上院議員、キャシー・マクモリス・ロジャース下院議員は、2024 年 3 月 21 日、エネルギーセキュリティの中核ミッションに回帰することを求める IEA (国際エネルギー機関) 向け書簡を公表した。「LNG 輸出許可承認を停止する大統領決定は、今後数十年間堅調な天然ガス需要増加する発展途上諸国向け米国産 LNG の将来の供給に破壊的な帰結をもたらす可能性が高い」「日本エネルギー経済研究所, bp, ExxonMobil, OPEC 等、エネルギーモデル分析を行う機関はそのレファレンスケースにて、世界の天然ガス需要が 2050 年まで増加し続けることを示している」と同書簡は述べた。

ダン・サリバン上院議員は、2024 年 3 月 18 日、気候問題特使に書簡で、政権による新規 LNG 輸出禁止措置を直ちに撤回すべきことを求めた。

Cheniere 社の 2024 年 3 月 8 日の FERC (米連邦エネルギー委員会) 提出書類によると、Corpus Christi LNG Stage 3 拡張は 53%近く完了し、2024 年生産開始を目指している。同拡張プロジェクトは、液化容量年間 149 万トンの中規模液化設備 7 系列を建設する。

Sabine Pass Liquefaction 社およびグループ数社が、2024 年 2 月 29 日、Sabine Pass Stage 5 拡張プロジェクトの立地・建設・操業許可を FERC (連邦エネルギー規制委員会) に申請した。計画されている拡張は、ConocoPhillips (CoP) 液化技術を用いる各年間 843 万トンの最大生産容量を持つ 2 液化系列、最大再液化容量年間 70 万トンのボイルオフガス再液化設備 1 基、フルコンテインメント地上式 220,000 m<sup>3</sup> LNG 貯蔵タンク 2 基で構成される。この新規液化系列 (第 7、8 系列)、新規 BOG 再液化設備により、SPLNG 設備の全 LNG 生産容量は、最大年間 1776 万トン増加することとなる。

東京ガス株式会社は、2024 年 3 月 19 日、東京ガスアメリカ社の子会社として、米国における e-methane 事業開発を担う Tokyo Gas GX1, LLC (TGX1) を 2024 年 4 月に米国に設立することを発表した。

国際企業 8 社が、2024 年 3 月 19 日、e-methane の普及拡大を目指す国際的アライアンス e-NG Coalition を設立することに合意したことを発表した。参加企業は、Engie, 三菱商事, 大阪ガス, Sempra Infrastructure, TES, 東京ガス, 東邦ガス, TotalEnergies である。

東京ガス株式会社は、2024 年 3 月 22 日、三井物産株式会社と、海外産バイオメタンに関する取引について合意したことを発表した。米国のごみ埋め立て地から発生するバイオガス由来のバイオメタン約 4 万 m<sup>3</sup> (気体換算。LNG 換算約 30 トン相当) を天然ガスの一部とみなして液化 (LNG 化) し、3 月 19 日に東京ガス扇島 LNG 基地にて国内初となる受け渡しが行われた。

TotalEnergies 社は、2024 年 3 月 18 日、米国の CCS (炭素回収・貯留) を重点とする Talos Low Carbon Solutions (TLCS) 社の 100%を取得する契約を締結したことを発表した。取引完了後に TotalEnergies は、Bayou Bend プロジェクトの 25%を持つこととなる。パ

ートナーは、Chevron (50%, オペレーター)、Equinor (25%) である。Bayou Bend プロジェクトはテキサス州湾岸の主要な CO<sub>2</sub> 貯蔵プロジェクトのひとつである。TotalEnergies は Harvest Bend (ルイジアナ州) プロジェクトの 65% オペレーター権、Coastal Bend (テキサス州) プロジェクトの 50% も持つこととなる。同社の方針は、取引完了後に両プロジェクトを売却することとなる。

Sempra Infrastructure 社は、2024 年 3 月 18 日、FID (最終投資決定) から 1 年を経て、テキサス州ジェファーソン郡 Port Arthur LNG プロジェクトの起工式を実施した。

Tellurian 社は、2024 年 3 月 5 日、Driftwood LNG プロジェクト第 1 段階建設開始の公式推進通知を、Bechtel 向けに 2024 年後半に発する、2028 年までに LNG 生産開始を目標とする、と述べた。この年間 2760 万トンプロジェクトに FERC (米連邦エネルギー規制委員会) 延長承認はなされたが、DOE (米連邦エネルギー省) は Driftwood 非 FTA 許可が、輸出承認判断「一時停止」の影響を受けないことを確認した。

Tellurian 社は、2024 年 3 月 18 日、SEC (証券取引委員会) 8-K 提出文書にて、Lazard Frères 社への委託事項に関して、既に発表していた上流天然ガス資産の売却可能性検討のみならず、融資・出資による資金調達方法、Driftwood あるいは Tellurian における出資分の売却、あるいは会社自体の売却、コマーシャル上のパートナー確保の支援、株式市場あるいは他関係者との Tellurian の位置付の検討、取締役会に対する戦略指針の提供等、広範囲の助言を含むように拡大したことを明らかにした。

Shell, Edison, その他欧州企業が、2024 年 3 月 8 日、Venture Global Calcasieu Pass 社が 2024 年 2 月 15 日に申請した LNG 許可延長申請を却下することを FERC (米連邦エネルギー委員会) に要請した。

FERC (米連邦エネルギー規制委員会) は、2024 年 3 月 13 日、Venture Global Calcasieu Pass 社に対して、同社が守秘扱いで提出した文書に関する情報を 5 日間以内で提供することを要請した。同社は同 15 日に回答した。

Venture Global LNG 社は、2024 年 3 月 18 日、LNG 動力による新規模大型船団の取得・建造を発表した。9 隻で、韓国で建造中、2024 年に引き渡し開始予定。6 隻はカーゴ容量 174,000 m<sup>3</sup>、3 隻は 200,000 m<sup>3</sup> となる。

Venture Global LNG 社は、2024 年 3 月 15 日、CP2 が FERC (米連邦エネルギー規制委員会) 議題に含まれていないことに失望を表明した。FERC が CP2 の最終環境影響評価 (FEIS) を発行して 8 ヶ月が経過、同委員会審査待ちで最長級になっている、と述べた。

Glenfarne Energy Transition 社子会社 Texas LNG 社は、2024 年 3 月 14 日、プロジェクトファイナンス実施段階に向け、主要なプロジェクトファイナンス銀行より、十分な関心表明を受けたことを発表した。Texas LNG 社は最近、LNG 年間 50 万トンの天然ガス液化業務に関する HOA (基本合意) を EQT 社と締結したことを発表した。Texas LNG 社はまた、設備開発のため Baker Hughes、ABB とのパートナーシップも発表した。Texas LNG から LNG 輸出開始は 2028 年を見込んでいる。

Glenfarne Energy Transition 社の子会社で、テキサス州ブラウンズヴィル港で建設予定の年間 400 万トンの LNG 輸出プロジェクト Texas LNG Brownsville 社は、2024 年 3 月 18 日、Gunvor Group 子会社 Gunvor Singapore 社との、Texas LNG から LNG 年間 50 万トン・20 年間の LNG FOB SPA (売買契約) に向けての HOA (基本合意) を締結したことを発表した。今回の取引は、Texas LNG 社による 2024 年 1 月 11 日に発表した EQT 社との LNG 液化加工契約に続くものである。Texas LNG 社にとって、Baker Hughes (2023 年 11 月)、ABB (2023 年 12 月)、Gulf LNG Tugs of Texas (2024 年 2 月) とのパートナーシップに続くものとなる。Glenfarne Energy Transition 社は、Texas LNG 社の多数株所有者である。Texas LNG 社は、2024 年資金調達完了・建設開始、2028 年稼働開始を計画している。Glenfarne Energy Transition 社はまた、ルイジアナ州レイクチャールズの年間 880 万トン Magnolia LNG の単独所有者でもある。

Delfin LNG 社は、2024 年 3 月 1 日、ルイジアナ州キャメロン郡沖 Delfin の FLNG (浮体 LNG 生産) プロジェクトから FTA (自由貿易協定相手国)、非 FTA 諸国向けに LNG 輸出を開始する期限を、当初の 2024 年 6 月 1 日から、5 年間、2029 年 6 月 1 日に条件付で延長する申請を DOE (連邦エネルギー省) に提出した。Delfin LNG は、まもなく FID (最終投資決定) 準備ができる、と述べている。

EQT 社は、2024 年 3 月 4 日、現在の暖冬と貯蔵在庫水準上昇による低天然ガス価格環境に対応して、2 月末から総生産量を日量 1 Bcf (10 億立方フィート) 削減する戦略的決定を行ったことを発表した。同社は 3 月末までこの削減を維持する見込みでその後市場環境を再評価する。第 1 四半期中の純生産の総削減は 30 - 40 Bcf となる見込み。

EQT 社、Equitrans Midstream 社は、2024 年 3 月 11 日、垂直統合型天然ガス事業となる合併契約を締結したことを発表した。取引は 2024 年第 4 四半期完了見込み。取引完了には、MVP パイプライン営業運転開始への FERC (米連邦エネルギー規制委員会) 承認が条件となる。

株式会社 JERA は、2024 年 3 月 25 日、ExxonMobil 社との間で、同社の低炭素水素・アンモニアの製造プロジェクトへの参画等についての共同検討に関する契約 (Project Framework Agreement) を締結したことを発表した。ExxonMobil 社は、米国テキサス州ベイタウン複合施設にて、世界最大規模となる低炭素水素製造プラントの開発プロジェクトを進めている。本プロジェクトは年間約 90 万トンの低炭素水素を生産するとともに、その水素の一部を原料とした年間約 100 万トン以上のアンモニアを生産することを想定している。現在、基本設計の検討を行っており、2028 年の生産開始を目指している。両社は、JERA の本プロジェクトへの参画、低炭素アンモニアの日本向け調達 (年間約 50 万トン) を検討するとしている。

LNG Canada は、2024 年 3 月 7 日、キティマットの Haisla ネイション原住民地域内の LNG Canada 第 1 段階設備が完成に近付いている、と述べた。建設作業がほぼ完成しており、コミッショニング・スタートアップへの作業がまもなく開始する。LNG Canada は 2025

年半ばまでに商業運転開始を期待している。LNG Canada は、世界で操業する大規模 LNG 輸出設備の中で、最低のカーボン原単位のプロジェクトを設計したとしている。排出量は世界最高水準の諸設備よりも 35%、世界平均より 60%低いとしている。LNG Canada は第 2 段階拡張の検討を続けている。

カナダ TC Energy 社は、2024 年 3 月 4 日、Énergir L.P. 社の子会社 Northern New England Investment 社とともに Portland Natural Gas Transmission System (PNGTS) 社を BlackRock 傘下の Diversified Infrastructure 社が管理するファンド、および Morgan Stanley Infrastructure Partners 管理下の複数の投資ファンドに売却する売買契約を締結したことを発表した。PNGTS は、ニューイングランド地方北部、カナダ大西洋側市場での 475-km の FERC (連邦エネルギー規制委員会) の規制を受ける天然ガス輸送企業である。

New Fortress Energy (NFE) 社は、2024 年 3 月 18 日、プエルトリコでの 2 件の取引を発表した。同社は、サンファン、パロセコの発電設備を PREPA に売却した。これらの発電設備は、2023 年、プエルトリコの送電網を安定化させるための緊急電力供給のため、米陸軍工兵隊の競争入札に応じて同社が開発した。NFE は、PREPA との間で、これら発電設備に最大 4 年間供給するため、新規のガス供給契約を締結した。

New Fortress Energy (NFE) 社は、2024 年 2 月 29 日、メキシコ アルタミラ沖自社初の Fast LNG 設備より、3 月 LNG 生産開始、4 月初カーゴを期待している、と述べた。同社はアルタミラ陸上となる 2 件目の FLNG プロジェクトの資金調達コミットメントを確保し、2026 年第 1 四半期の建設完了を期待しているとのこと。

## [中東]

アブダビ ADNOC は、2024 年 3 月 12 日、自社 Ruwais LNG プロジェクトの初期 EPC (エンジニアリング・調達・建設) 活動に関して、Technip Energies を中心とする日揮・National Petroleum Construction Company PJSC 含む合弁事業体に、限定推進通知 (LNTP) を発したことを発表した。2024 年に FID (最終投資決定) を見込み、同プロジェクトは、MENA (中東・北アフリカ) 地域で初めてクリーン電力で運転し、世界で最もカーボン原単位が低い LNG 生産設備のひとつになるとのこと。年間 480 万トン LNG 液化系列 2 本で構成されることとなる。

アブダビ ADNOC 社は、2024 年 3 月 18 日、ドイツ SEFE Securing Energy for Europe 社子会社 SEFE Marketing & Trading Singapore 社との間での LNG 年間 100 万トンに関する 15 年間の HOA 基本合意を発表した。基本的に ADNOC 社 Ruwais LNG から調達される。同プロジェクトから、2023 年 12 月締結された中国 ENN (新奥能源) 社との 15 年間 HOA 契約に続く 2 件目である。引き渡しは稼働開始後の 2028 年開始を見込んでいる。

カタール QatarEnergy 社は、2024 年 3 月 24 日、Nakilat (Qatar Gas Transport Company Limited) との間で、25 隻の在来型サイズの LNG 輸送船舶に関して、QatarEnergy による LNG 輸送船団拡張プログラムの第 2 弾船主入札の一環として、定期備船契約 (TCP) を締

結したことを発表した。この内 17 隻は、韓国現代重工 (HHI)、8 隻はハンファオーシャン (旧 大宇造船海洋) にて建造される。各隻は容量 174,000 m<sup>3</sup> となり、この 15 年間 TCP に従い、Nakilat より QatarEnergy 子会社へと傭船される。

Saipem は、2024 年 3 月 14 日、インドネシアの自社 Karimun 組み立てヤードから、カタール QatarEnergy LNG の North Field 生産持続沖合・パイプラインプロジェクト向けに、最初の上部構造 3 件 (1 本が井戸元生産用、2 本がライザープラットフォーム) が積み込まれたことを明らかにした。

ドイツ SEFE 社は、2024 年 3 月 21 日、オマーン Oman LNG 社と、2023 年 8 月の拘束力あるタームシート合意を受け、2026 - 2029 年分の年間 40 万トンの LNG について SPA (売買契約) を締結したことを発表した。

日立造船株式会社は、2024 年 3 月 12 日、オマーン国 Oman LNG 社と、MOU「メタネーションの事業化に向けた協力覚書」を締結したことを発表した。今回の MOU は、両国間の協力覚書に基づいた取り組みとなり、Oman LNG が保有する LNG 設備にメタネーション装置を実装し、CO<sub>2</sub> の資源化を目指す。

#### [欧州・周辺地域]

Macquarie Capital 社傘下の WaveCrest Energy 社は、2024 年 3 月 17 日、英国での Teesside Flexible Regas Port 計画について、第 3 四半期に計画する容量競売に先立ち、市場要望調査手続きの開始を発表した。Teesside Flexible Regas Port は天然ガス最大日量 248.5 GWh を引き渡す見込み。同プロジェクトは、陸上緩衝用貯蔵・LNG 気化設備で構成し、LNG 輸送船舶を繫留・荷揚げする専用棧橋に接続する。2026 年稼働開始を計画する。市場要望調査手続きは 3 月 18 日に開始し、4 月 26 日に終了する。

オランダ Gate terminal 社は、2024 年 3 月 11 日、新規棧橋 (jetty 4) 構想への小規模船舶への積み込み業務に関する関心表明非公式募集を通じて、市場の需要を探っていることを発表した。参加者は 4 月 12 日までに関心を提出することを求められている。

TES (Tree Energy Solutions) 社は、2024 年 3 月 25 日、ドイツの輸送網規制機関 BNetzA が、ヴィルヘルムスハーフェン Green Energy Hub Wilhelmshaven 内の (e)LNG 基地を、稼働開始から 20 年間、料金・第三者アクセス規制から適用除外としたことを発表した。このゼロエミッション基地の容量は年間 15 bcm (150 億 m<sup>3</sup>) である。

ドイツ Deutsche Energy Terminal 社は、2024 年 3 月 14 日、FSRU (浮体貯蔵・気化設備) "Energos Force" が Stade-Bützfleth 工業港に同 15 日午前 7:30 頃到着見込み、と発表した。数週間試運転後、年間 5 bcm (50 億 m<sup>3</sup>) を同国のガス網に送出することとなる。DET 社の 4 件の浮体 LNG 基地中、3 件目として、完成が近付いている。

ドイツ Hanseatic Energy Hub 社は、2024 年 3 月 21 日、自国初の液化ガス陸上型基地建設への FID (最終投資決定) を発表した。同社株主 Partners Group (顧客の代表として)、Enagás, Dow, Buss Group は、HEH プロジェクト向け資金調達を確保した。Técnicas



Reunidas, FCC, Enka が Stade 工業地域での同ハブ建設契約を受注しており、2027 年稼働開始が計画されている。HEH は当初、LNG, SNG (合成天然ガス)、液化バイオメタン輸入基地、その後カーボンニュートラルなスイスベース燃料のキャリアとしてのアンモニア輸入基地として機能する予定である。HEH が稼働開始すれば、ドイツ連邦政府が備船している FSRU "Energos Force" はシュターデを離れることとなる。2024 年 3 月に現場に着いた同浮体 LNG 基地は、前記陸上基地が完成するまで、短期的にガス供給確保を続ける。HEH は総容量が天然ガス年間 13.3 bcm (130 億 m<sup>3</sup>) となる。この容量の 90%を EnBW, SEFE, ČEZ が長期予約している。長期契約は、後段で水素系エネルギーキャリアに転換するオプションを含む。同基地はアンモニア対応可能として当局の許可を受けている。

ドイツ SEFE Securing Energy for Europe 社は、2024 年 3 月 26 日、Wintershall Dea AG が持つ 50.02%株式の買い取りにより、WIGA 社の単独株主となることを発表した。WIGA 社は、ガス輸送網操業企業 GASCADE、NEL を所有する。両社はドイツのガス網合計全長 4,150 km を操業している。GASCADE 社はドイツ全土の全長 3,710 km パイプライン網、NEL は欧州北部全長 441 km 分を操業している。

フィンランド Hamina LNG 社は、2024 年 3 月 21 日、この週に Hamina LNG 基地にて、Rohe Solutions 社、Glander International Bunkering と協力して、船舶燃料向けの LNG バンカリングを完了したことを明らかにした。

オランダのエネルギーインフラストラクチャー企業 VTTI 社は、2024 年 3 月 27 日、ドイツ IKAV 社とともに、イタリアのベネト州沖 15 km の Adriatic LNG 気化基地の多数所有権を取得するための企業連合に参加したことを発表した。取引完了は 2024 年後半を見込んでいる。

Vitol 社は、2024 年 3 月 26 日、自社の天然ガス、LNG 取り扱いが、2023 年各々 19%、24%増加したことを報告した。

ロシア Gazprom は、2024 年 3 月 21 日、同年初までに自国の自動車用ガス充填ステーション数が 836 件と 2012 年の 3.5 倍に達した、と述べた。この半分以上が Gazprom に属する。

Gazprom は、2024 年 3 月 21 日、Power of Siberia ・ Sakhalin - Khabarovsk - Vladivostok ガスパイプライン間の接続工事を開始したことを発表した。東部ガス供給システム中、800 km 以上にわたる Belogorsk - Khabarovsk 区間の建設が 2024 年に開始された。他地域に関しては、設計・調査作業が進行中である。

ロシア政府の 2024 年 3 月 23 日付指令によると、同政府は Sakhalin-2 プロジェクトにおける従来 Shell が所有していた 27.5%持分を Gazprom 傘下の Sakhalin Project 社 (OOO «Сахалинский проект») に 948 億ルーブルで売却することに合意した。

ウクライナ Naftogaz は、2024 年 3 月 24 日、武力攻撃でガス貯蔵 (UGS) 設備の陸上インフラストラクチャーに生じた損傷は、UGS の提供するサービスに影響しない、と述べた。損傷した地表インフラストラクチャーに修繕は必要。

## 【南米】

スリナム Staatsolie Maatschappij Suriname N.V. 社は、2024 年 3 月 4 日、PETRONAS ・ ExxonMobil と、2020 年に同国沖合第 52 鉱区 Sloanea-1 探査井で発見されたガスについて、さらに探査を進めるための基本合意 (LoA) を締結したことを発表した。PETRONAS が、2020 年同鉱区でガス資源を発見した。商業開発の可能性としては、FLNG プロジェクトによる開発も含まれる。

アルゼンチン YPF 社は、2024 年 3 月 7 日、2027 年までに既存 FLNG を活用して LNG 輸出を開始し、2032 年以降は輸出を年間 2500/3000 万トンに拡大する、と述べた。

New Fortress Energy (NFE) 社は、2024 年 2 月 29 日、ブラジル パラ州 Barcarena LNG 基地が、Energos Celsius FSRU (浮体貯蔵・気化設備) 現場到着・稼働開始したことを発表した。アマゾン河口に立地、パラ州・同国北部の唯一の天然ガス供給源となる。

New Fortress Energy 社 (NFE) は、2024 年 3 月 1 日、ブラジル サンタカタリーナ州 Terminal Gas Sul (TGS) LNG 基地が、Energos Winter FSRU (浮体貯蔵・気化設備) 到着により稼働開始したことを発表した。TGS は、容量年間 600 万トンの洋上 LNG 輸入基地である。同基地は、Winter FSRU、同基地を既存陸上 Transportadora Brasileira Gasoduto Bolívia-Brasil (TBG) ボリビア・ブラジル間パイプラインに接続する全長 33 km・20 インチ径パイプラインで構成される。

## 【グローバル】

IEA のメタントラッカー最新版によると、化石燃料生産・利用に伴うメタン排出は、2023 年前年比微増の 1.20 億トンだった。上位 10 排出国が世界全体の 3 分の 2 を占めた。

参考資料: 各社発表, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)